

弊社の翻訳サービスの特徴

機密厳守

1. 特許調査も行っている為、用途に合わせた翻訳が可能です

- 例) ・出願目的の明細書翻訳 ⇒ 各国出願様式に合わせた翻訳
(米国出願、日本出願、国際出願様式など)
- ・中間処理翻訳 ⇒ フォーマットに基づいて
 - ・侵害調査目的の公報翻訳 ⇒ 原稿に忠実に
 - ・先行例調査目的の公報翻訳 ⇒ 技術内容に重点を置いて

2. ご指定の用語、表現方法に合わせて翻訳します → 用語集作成

継続してご発注いただければ、お客様に合わせた用語集を作成し、用語リストを蓄積していきます。
(用語集に基づいて翻訳を行うと、別の翻訳者による翻訳でも、用語のばらつきがなくなります)
ご希望により、用語集の提供も行います。

3. 社内チェック

翻訳者からあがってきた翻訳を、厳密にチェックします。

- ・お客様のご要望通りに作成されているかどうか
- ・それぞれの国の特許プラクティスが考慮されているか
- ・チェックポイント：
 1. 語学的要素
 2. 用語の選択
 3. 技術的解釈
 4. 抜け・漏れの有無
 5. レイアウト
 6. 原文に対する忠実さ

中国語・韓国語の翻訳チェックサービス



従来の出願の問題点



- 翻訳ミスが原因の拒絶理由が全体の30%
- 翻訳ミスにより特許係争事件で敗訴するケース多発
- 翻訳ミスにより権利行使不能に陥った特許続出

新規翻訳チェック業務

既に翻訳された文章のチェックをお引き受け致します。
ネイティブによるチェックを行っています。

